

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	実践プログラミング		
英文授業科目名	Practical Programming		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	田中 達彦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>本講義は、実践的なプログラミングを通じてソフトウェア開発の楽しさを知り、ソフトウェアの力で情報を発信することができるようになることを目標として行います。</p> <p>今年度は、昨年度のカリキュラムの内容を元に、一部バージョンアップして講義を実施します。シラバス上は1年生を対象としていますが、プログラミングに興味があれば学年、学科に関係なく受講してください。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特にありませんが、2年生以上はプログラミング関連の講義を受けていることが望ましい。

【教科書等】
<p>以下の教科書を使用します。</p> <p>実践プログラミング入門編 ソフトバンク クリエイティブ刊 ISBN 4-7973-3168-2 定価2000円(税別)</p>

【授業内容とその進め方】

授業は下記の予定で進めます。予定は予告なく変更する場合があります。

1. イントロダクション(4月11日)

履修する/しないに関わらず、興味がある学生は必ず受講してください。

2. 初心者のためのプログラミング入門(4月18日)

3年生、4年生の定期健康診断のため、この回はプログラミング経験がない人向けの内容にします。既にプログラミング経験がある学生は、この回を受講しなくても構いません。

3. プログラミングとは/開発言語とOS(4月25日)

プログラミングとはどういうものか、何が出来るのかについて説明します。また、開発言語、開発ツール、OSの関連を説明します。

[5月2日は休講の予定です]

4. Windowsアプリケーションの作成と内部構造 Part1(5月9日)

5. Windowsアプリケーションの作成と内部構造 Part2(5月16日)

簡単なWindowsアプリケーションの作成を通じて、アプリケーションの作成方法と、なぜそのアプリケーションが動くのかを説明します。

6. C#の言語仕様(5月23日)

開発言語C#についての言語仕様について説明します。

7. プログラミング応用編 Part 1(5月30日)

8. プログラミング応用編 Part 2(6月6日)

9. プログラミング応用編 Part 3(6月13日)

ゲームの作成を通じて、プログラミングのテクニックについて説明します。

10. プロジェクトマネジメントとは(6月20日)

企業に入ってから役に立つ情報として、プロジェクトマネジメントをはじめとする知っておくべき知識について説明します。

11. 応用プログラミング(6月27日)

シリアル通信などのテキストの範囲外のプログラミングについて説明します。

12. 最新テクノロジーの動向(7月4日)

日々進化するテクノロジーの中から、Windows Vistaに搭載される最新のテクノロジーと、それによりプログラミングがどのように変化していくのかを解説します。

13. 良いアプリケーションを作るためのヒント(7月11日)

作成したアプリケーションをブラッシュアップし、他の人に使用してもらえるレベルに高める方法について説明します。

14. まとめ(7月18日)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

途中で出す課題と、最後の試験によって成績評価を行います。全く課題を提出しない学生や試験を受けない学生には不可をつけます。試験を受けた場合でも、授業の内容を理解していない場合には不可をつけます。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

講義後しばらく教室にいますので、質問があればそのときに行ってください。

【学生へのメッセージ】

今年はより実践的な内容を取り入れ、プログラミングの楽しさを味わえる講義にします。この講義を通じてプログラミングの面白さを体感し、ソフトウェア開発を通じてメッセージが出せるようになることを目標に講義を行います。将来、ソフトウェアの開発者になりたい人はもちろん、プログラミングというものに興味があれば、ぜひこの講義を履修してください。

【その他】

履修者には、授業の理解を深めるために必要なVisual Studio 2005を5月頃に提供する予定です。